

# 市川 図書館だより No.111

ICHIKAWA LIBRARY

2023. 3. 31

発行：市川市中央図書館 編集：広報委員会 〒272-0015 市川市鬼高1-1-4 TEL. 047-320-3346

## 大人の知らない!? 絵本の世界

皆さんは大人になってから絵本を開いたことはありますか？

絵本は私たちに元気を与えてくれたり、普段とは違う視点で考えさせてくれたり、心あたまるお話であったりと、子どもだけで読むのはもったいないくらい奥が深い絵本がたくさんあります。

そこで今回は大人が楽しめる絵本をご紹介します。図書館でお気に入りの一冊を探してみませんか。



「図書館だより」  
Web ページはこちら



### 心がほんわか 誰かに優しくなれる絵本

ほかに

- ◆ 『だいじょうぶ だいじょうぶ』  
いとうひろし/作・絵 (講談社 2006)
- ◆ 『100万回 生きたねこ』  
佐野洋子/作・絵 (講談社 1977)

#### 『犬になった王子』

チベットの民話  
君島久子/文  
後藤仁/絵 (岩波書店 2013)

国民のためにタネを求める旅にでた王子は、魔法で犬に変えられてしまう。



#### 『皇帝にもらった花のたね』

デミ/作・絵、  
武本佳奈絵/訳 (徳間書店 2009)

花を育てるのが大好きな男の子ピン、皇帝からもらった種を大切に育てますが花は全く咲かず...

#### 『水曜日の本屋さん』

シルヴィ・ネーマン/文  
オリヴィエ・タレック/絵  
平岡敦/訳 (光村教育図書 2009)

水曜日には決まって本屋さんへ行く少女と老紳士の心あたまる物語です。



#### 『海のがみのゆうびんや』

ミシェル・クエヴァス/文  
エリン・E.ステッド/絵 岡野佳/訳 (化学同人 2022)

ひとりぼっちの郵便屋は、ある日、ガラスびんに入った不思議な手紙を受け取った。



#### 『Life』

くすのきしげのり/作  
松本春野/絵 (瑞雲舎 2015)

町のはずれにあるお店「Life」。そこは誰かが何かを置いていき、そして誰かが何かを持って帰る場所。



#### 『ホームランを打ったことのない君に』

長谷川集平/作 (理論社 2006)

今日もチャンスで凡退。でも、ぼくいつかホームランを打つよ。試合を見に来てくれた仙ちゃんのために。



### くすっと笑える！絵本



ほかに

- ◆ 『空の飛びかた』  
ゼバスティアン・メッセンモーター/作 関口裕昭/訳 (光村教育図書 2009)
- ◆ 『ミライノ イチニチ』  
コマツシンヤ/作 (あかね書房 2019)

梶山俊夫さんは市川市ゆかりの絵本作家です

#### 『くみたて』

田中達也/作 (福音館書店 2022)  
ミニチュアの作業員たちが、組み立てなおした日用品をミニチュアの住人たちはどう使うのか...



#### 『ないしょのかくれんぼ』

ビバリー・ドノフリオ/文  
バーバラ・マクリントック/絵  
福本友美子/訳 (ほるぷ出版 2014)  
女の子マリアには、同じ家にネズネズというネズミの友達がいきました。



#### 『おばけと友達になる方法』

レベッカ・グリーン/作、岸本佐知子/訳 (福音館書店 2021)

運よくおばけに見つけてもらえた時のために、友達になる方法を学びましょう。

#### 『ねこはるすばん』

町田尚子/作 (ほるぷ出版 2020)  
「にんげん」が動かして行った時、ねこはるすばん、と思いきや...

#### 『あめだま』

ベクヒナ/作  
長谷川義史/訳 (プロンズ新社 2018)  
ふしぎなあめだまをなめたら、まわりの物や動物、人の心の中の声が聞こえたよ。ソファや犬は普段何を考えているんだろう。



#### 『かえるのごほうび 絵巻「鳥獣人物戯画」より』

木島始/さく 梶山俊夫/レイアウト (福音館書店 2021)

鳥獣戯画にテンポの良いお話を添えると...コミカルに動き出す動物たちが楽しい絵本。



# 美しい絵本の世界を味わいたい！



ほかにも

- ◆『せん』  
スージー・リー／作  
(岩波書店 2018)
- ◆『よあけ』  
ユリー・シュルヴィッツ／作・画  
瀬田 貞二／訳  
(福音館書店 1977)

## 『さくらがさくと』

とうとうなりさ／さく  
(福音館書店 2020)

桜の木はいつも人々の営みを見守りながら、ただそこに優しく立っています。美しい桜を絵本でお楽しみください。



## 『ぴっぽのたび』

刀根里衣／著  
(NHK出版 2014)  
ひとりぼっちのカエルぴっぽと小さなひつじが夢の中で季節を旅する物語です。



## 『旅の絵本』シリーズ全 10 巻

安野光雅／著  
(福音館書店 1986)  
繊細なタッチで描かれた、世界の美しい風景を楽しみましょう。



## 『海とそらがであうばしょ』

テリー・ファン&エリック・ファン／作  
増子久美／訳 (化学同人 2020)



少年フィン、今は亡きおじいさんが話していた「海とそらがであうばしょ」に船出します。

## 『ぶどう酒びんのふしぎな旅』

藤城清治／影絵 アンデルセン／原作  
町田仁／訳 (講談社 2010)

鳥かごにくくられた瓶の口も、昔は上等なぶどう酒のびんでした。びんの口はひとりごとのように身の上話を始め…



## 『の』

junaida／著  
(福音館書店 2019)



「わたしのお気に入りのコートのポケットの中のお城の」…文中の「の」が、あなたを不思議な世界に誘います。ページをめくるたびに、わくわくする絵本です。



# 考えさせられる 深ーい絵本

ほかにも

- ◆『おおきな木』  
シェル・シルヴァスタイン／作  
村上春樹／訳  
(あすなる書房 2010)
- ◆『たいせつなこと』  
マーガレット・ワイズ・ブラウン／さく  
レナード・ワイズガード／え  
うちだややく／やく  
(フレーベル館 2001)

## 『キーウの月』

ジャンニ・ロダーリ／作  
ベアトリーチェ・アレマーニャ／絵  
内田洋子／訳(講談社 2022)



キーウの月は、ローマと同じ月なのかな。美しい詩の絵本。

## 『みずうみにきえた村』

ジェーン・ヨーレン／文  
バーバラ・クーニー／絵  
掛川恭子／訳  
(ほるぷ出版 2020)

私たちの村は湖になった。幼い日々の思い出とともにー



## 『かべのむこうになにがある？』

ブリッタ・テッケントラップ／作  
風木一人／訳  
(BL出版 2018)

いつからあるかわからない大きな壁。ねずみは壁の向こうが気になります。



## 『くまとやまねこ』

湯本香樹実／ぶん  
酒井駒子／え  
(河出書房新社 2008)



仲良しのこりを亡くして悲しみにくれるくまは、川べりの土手でやまねこに出会います。やまねこはくまのためにバイオリンを演奏しました。

## 『どんなかんじかなあ』

中山千夏／ぶん  
和田誠／え  
(自由国民社 2005)



ぼくは考えてみた。目が見えないってどんなかんじかなあ。耳が聞こえないってどんなかんじかなあ。

## 『いつかあなたをわすれても』

桜木紫乃／文  
オザワミカ／絵  
(集英社 2021)



私のおばあちゃん、さとちゃんは近頃とっても忘れん坊。そんなさとちゃんを見て、ママは悲しくないのかな。

# 絵本で、知らなかった世界に出会う



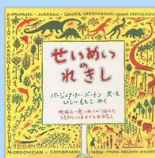
ほかにも

- ◆『ルリユールおじさん』  
いせひでこ／作  
(理論社 2006)
- ◆『絵本江戸のたび』  
太田大輔／作  
(講談社 2019)

## 『せいめいのれきし』

バージニア・リー・バートン／文・絵  
いしいもこ／訳 (岩波書店 2015)

地球を主役にした舞台が始まります。「いま」につながるまで、地球はどのような営みを続けてきたのでしょうか。



## 『すこいね!みんなの通学路』

ローズマリー・マカーニー／文  
西田佳子／訳 (西村書店 2017)



川を渡り、崖を登り子どもたちは学校に通います。みんな学校が大好きだから。

## 『世界でいちばん貧しい大統領のスピーチ』

ムヒカ／述 くさばよしみ／編  
中川学／絵 (汐文社 2014)



ウルグアイの大統領のスピーチの絵本。人間にとっての真の幸せとは。

## 『アインシュタイン時をかけるネズミの大冒険』

トーベン・ケールマン／作 金原瑞人／訳  
(プロンズ新社 2021)

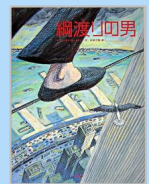


アインシュタインの「相対性理論」を読んだネズミは、タイムマシンを作り過去に旅立ちます。

## 『綱渡りの男』

モーディカイ・ガースティン／作  
川本三郎／訳  
(小峰書店 2005)

綱渡り師フィリップは、貿易センタービルのツインタワーの間にロープを張って綱渡りに挑戦します。



## 『あるヘラジカの物語』

星野道夫／原案  
鈴木まもる／絵と文  
(あすなる書房 2020)



アラスカに生きるヘラジカの生命のつながりの物語。アラスカの風や光を感じられます。

市川市ゆかりの写真家・星野道夫さんの撮った写真から生まれた絵本です

気になる絵本は見つかりましたか。ほかにも、こんな絵本を探している、昔読んだこんな絵本をもう一度読みたい、ということがありましたら、ぜひ図書館司書にご相談ください。探しもののお手伝いをいたします。

市川市 e-モニター制度を利用して、「子どもの読書活動と図書館 Web サービスに関するアンケート」を実施いたしました。来館者アンケートとは異なり、まだ図書館を利用したことがない方も対象にした調査です。調査実施期間は令和5年2月17日（金）～3月2日（木）で、有効回答者数は1,284名でした。

ここにアンケート結果の一部をご報告いたします。お寄せいただいたご意見につきましては今後の図書館運営に活かしてまいります。

市川市 e-モニター制度（愛称 e モニ）は、パソコンやスマートフォン等、インターネットを活用して意見を広く集めて市政に反映する、事前登録制のアンケート制度です。

e モニアンケート結果

ご協力ありがとうございました!

令和4年度の e-モニター制度を利用した調査では、子どもの読み聞かせなどの読書活動や図書館の Web サービスへの利用状況や希望するサービス、情報発信するツールについての意見などを伺いました。

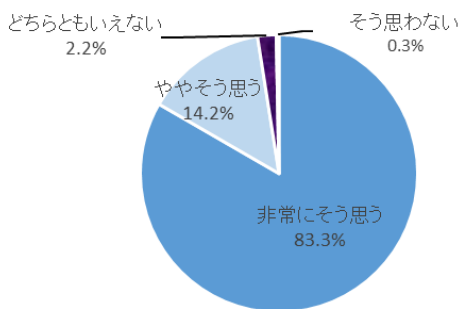
子どもたちが本に慣れ親しむ為に必要なものについては、家庭での読み聞かせが 81%となり、ついで学校での授業や指導が 54%となりました。図書館の利用や読み聞かせの会への参加については、53%となり、過半数の方が図書館での活動を必要だと思っれていることがわかりました。

自分の子または他の子どもたちに絵本などの読み聞かせをしたことがある、もしくは読み聞かせを受けたことがあるかについては、子どもに読み聞かせをしたことがあるが 70%、子どもの頃に読み聞かせを受けたことがあるが 35%となりました。どちらもしたことがないが 16%でしたので、84%の方が読み聞かせの体験があるという結果になりました。

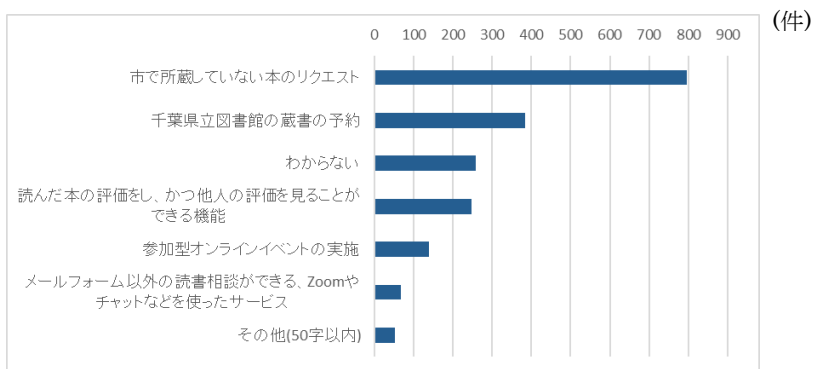
また、市の図書館 Web サイトを利用したことがあるかについては、利用したことがあるが 65%となり、35%の方が Web サイトを利用したことがないということがわかりました。ただし、市川市の図書館を主として利用していない方が 20%いることをふまえると、それなりの数の方が市の Web サイトを利用していることがわかります。

今回の貴重な意見をふまえ、今後のサービスのあり方を検討してまいります。

あなたは、子どもたちが幼少期から本に慣れ親しむことは、大切なことだと思いますか。



あなたは、市の図書館 Web サイトでどのようなサービスがあったら便利だと思いますか。（複数回答可）



\*アンケートの結果は、4月以降、図書館ホームページでもご覧になれます。

図書館の利用目的や、利用した成果、満足度、要望などを来館者アンケートにより市内各図書館及び大野・西部公民館図書室で調査いたしました。アンケート調査は令和5年2月9日(木)から2月15日(水)までの6日間で行いました。

ここにアンケート結果の一部をご報告いたします。お寄せいただいたご意見につきましては今後の図書館運営に活かしてまいります。

実施場所	実施期間	満足度の総回答数	「満足」または「やや満足」と回答した数	総合的満足度(%)
中央図書館	2/9(木)~2/15(水)	514	495	96.3
行徳図書館		194	182	93.8
信篤図書館		69	67	97.1
南行徳図書館		90	87	96.7
平田図書室		80	79	98.8
大野公民館図書室		56	54	96.4
西部公民館図書室		59	54	91.5
合計		1062	1018	95.9

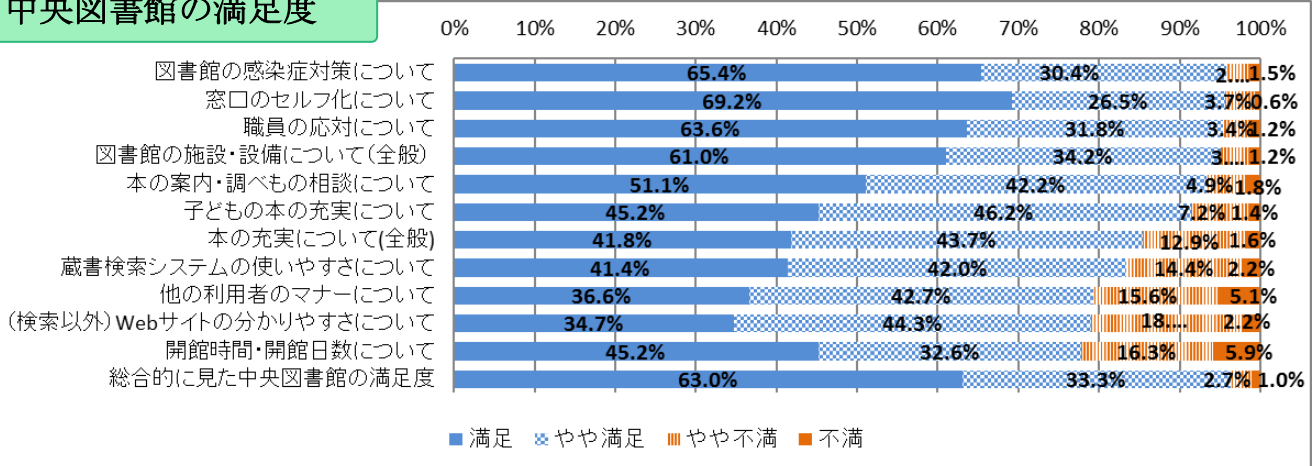
来館者へのアンケート結果

ご協力ありがとうございました!

図書館を利用した際の満足度を尋ねました。「総合的な満足度」は、全体としては昨年の前回調査より0.5ポイント上がっての95.9%と高い結果となりました。項目別にみて満足度が高かったのは、「職員の対応」と「図書館の感染症対策」で、この項目については、すべての館で95%を超える高評価を得られました。「本の案内・調べもの相談」についても90%以上と満足度が高くなっています。また、中央図書館、行徳図書館で導入している「窓口のセルフ化」についても、95%以上と高い満足度となりました。今後も必要な対策を取りながら、新技術の導入や職員のスキルを高めることで、図書館サービスの向上に努めてまいります。

一方これらに比べると、「本の充実」については、満足度が低くなっているため、多様な市民のニーズに対応できるよう、全館で計画的に資料の更新を図り、図書館サービスの拡充に努めていきたいと思っております。

中央図書館の満足度



中央図書館を利用して、どうお感じになりましたか?

